

2026年冬季オリンピックの札幌招致に関する決議

オリンピック及びパラリンピック競技大会は、世界中の人々の相互理解と友好親善を推進し、世界平和の実現に大きく寄与する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

オリンピック招致・開催の意義は大きく、本市は、アジア初となる1972年の冬季オリンピック開催を契機として一躍世界にその名を広め、本格的に国際都市・近代都市としての道を歩みはじめた。

近年においても、2002年のFIFAワールドカップをはじめとする数々の国際的イベントが開催され、2017年には3回目となる冬季アジア大会の開催を控えているなど、本市は、その実績からオリンピック開催の素地を十分に有するものである。

本年開催されたソチ大会における日本選手団の活躍が記憶に新しいところであるが、札幌でのオリンピックの開催は、市民に夢と誇りを生み、スポーツ振興や国際交流の促進はもとより、青少年の育成や地域の経済発展など、まちの魅力を新たな次元に高め、冬季スポーツをけん引する国際都市として、さらなる飛躍をするための絶好の機会である。

よって、本市議会は、国や北海道の支援、市民や経済界、関係機関の理解と協力のもと、2026年冬季オリンピック及びパラリンピック競技大会の札幌招致を目指す意思をここに表明する。

以上につき決議する。

平成26年（2014年）11月6日

札幌市議会

（提出先）札幌市長

（提出者）自民党・市民会議、民主党・市民連合、公明党及び改革

所属議員全員並びにみんなの党木村彰男議員